

記入例

海技士の資格に係る海技士国家試験申請書（二）

※ボールペンで記入

※該当する箇所がない方も、氏名と住所を記入して提出
(試験の種別ごとに必要になります)

(ふりがな) 氏名	かいぎ たろう 海技 太郎
現住所	〇〇県△△市～

※科目免除を受けない方は、「いいえ」に丸を付ける

試験の免除

試験申請の日以前 1 年以内に合格し、認定により身体検査の省略を受けようとするときは試験の種別及び合格年月日	内燃機関〇級海技士(機関)		試験
	RO年 □ 月 △ 日		
受験する試験中筆記試験に合格しているときは合格年月日	RO年 □ 月 △ 日		合格
受験する筆記試験中一部の試験科目についての免除を受けるか否か	はい いいえ	左記で「はい」とした場合には、右記にその試験科目（該当のものに○をつけること。）、当該試験と同種別の試験の受験時期及び試験地（複数ある場合は全て記入。）	航海運用 法規英語 RO年□月 年月 年月
		機関(その一) 機関(その二) 機関(その三) 執務一般	

学校卒業証明書、海技免状、無線従事者免許証の写しの照合

学校名 (部・科)	〇〇水産高校 校本科	卒業証明書 番号	卒業証明書、取得単位証明書を見て記入		卒業日	※照合者認印	
		修得単位数	単位	※認定単位数	単位	※照合者認印	
船舶職員養成施設名及び設置者の名称		養成施設の種類	修了証明書 番号	第	号	※照合者認印	
			年	月	日	修了	
海技免状		第	号	年	月	日	免許登録
						※照合者認印	
無線従事者免許証		第	号	年	月	日	免許登録
						※照合者認印	
船舶局無線従事者証明書		第	号	年	月	日	証明
						※照合者認印	

乗船履歴

乗船順位	船舶名	総トン数又は推進機関の出力	船舶推進機関及び無線設備の種類並びに船舶の用途	航行区域又は従業区域(従業制限含む)	船舶所有者の氏名又は名称	職名	乗船又は就業の年月日	下船又は終業の年月日	乗船又は就業の期間
1	〇〇丸	3176kw	貨物船	沿海区域	株式会社 〇〇	機関員	RO年 □月△日	RO年 □月△日	RO年 □月△日
2	〇〇丸	499トン	〇〇タンカー	近海区域	(株)〇〇	甲板員	RO年 □月△日	RO年 □月△日	RO年 □月△日
3							年 月日	年 月日	年 月日
4							年 月日	年 月日	年 月日
5							年 月日	年 月日	年 月日
6							年 月日	年 月日	年 月日
乗船履歴と船員手帳又は証明書との照合							※ 照合者認印	期間の合計 ○年 □月 △ 日	

(注) 1. ※欄は記入しないこと。

- 船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第 31 条の規定による換算をするときは、「乗船又は就業の時間」の欄に換算した乗船期間を括弧して付記すること。
- 試験手数料は納付書により納付すること。